

# 接種について

## 新型コロナワクチン接種についてのお知らせ

### 接種が受けられる時期NEW (厚生労働省ホームページから抜粋)

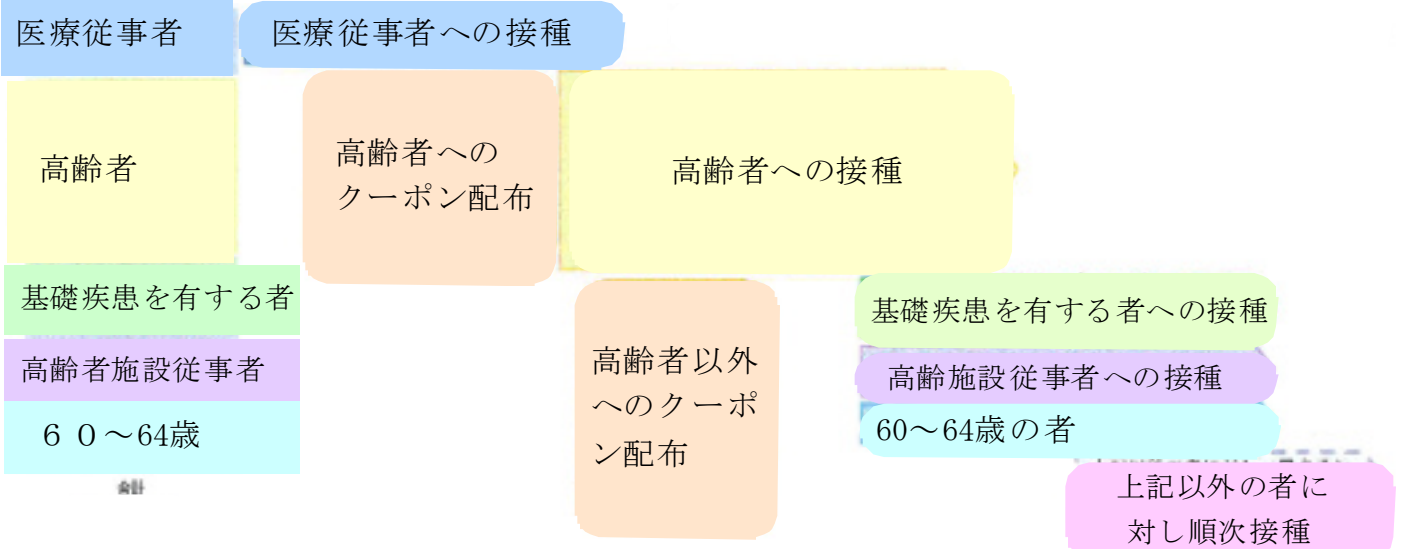
接種を行う期間は、令和3年2月17日から令和4年2月末までの予定です。(時期に遅れが予想されます。)最初は、医療従事者等への接種が順次行われます。その後、高齢者、基礎疾患を有する方等の順に接種を進めていく見込みです。なお、高齢者への接種は、一部の市町村で4月12日に開始される見込みです。当初は実施する市町村や接種する人数が限られており、順次拡大していきます。

### 接種回数と接種の間隔

2回の接種が必要です。

ファイザー社のワクチンでは、通常、1回目の接種から3週間後に2回目の接種を受けます。1回目から3週間を超えた場合には、できるだけ早く2回目の接種を受けてください。

### 接種順位の予定



### 接種が受けられる場所

原則として、住民票所在地の市町村(住所地)の医療機関や接種会場で接種を受けていただきます。インターネットで、ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場を探すための、接種総合案内サイトを設置する予定です。そのほか、市町村からの広報などをご確認ください。

### 接種を受けるための手続き 次のような方法で接種を受けることになります。

- (1) 接種の時期より前に、市町村から「接種券」と「新型コロナワクチン接種のお知らせ」が届きます。
- (2) ご自身が接種可能な時期が来たことをご確認ください。
- (3) ワクチンを受けることができる医療機関や接種会場をお探してください。
- (4) 電話やインターネットで予約をしてください。
- (5) ワクチンを受ける際には、市町村より郵送される「接種券」と「本人確認書類(運転免許証、健康保険証など)」を必ずお持ちになってください。

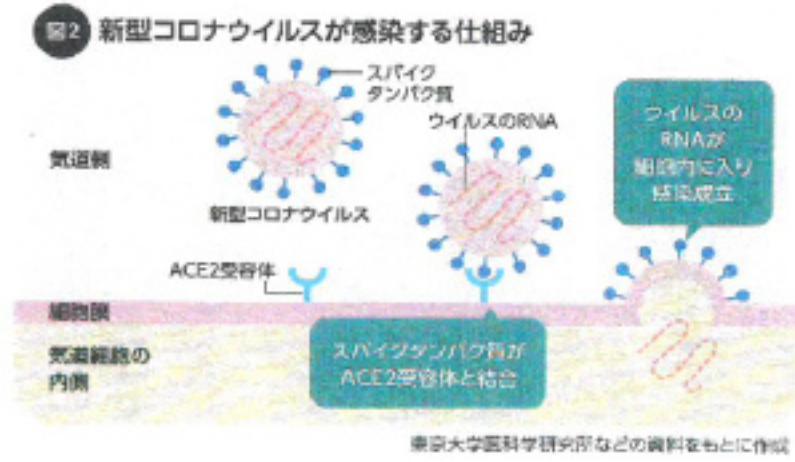
**なお、接種費用は全額公費(無料)で接種出来ます。**

## ぜん息患者はかかりにくい？

### ウイルスの入り口が少ない？

ぜん息患者は、新型コロナウイルス感染症にかかりにくいのではないかと指摘されています。新型コロナウイルス感染症の患者には、ぜん息患者が少ないようです。世界3カ国(中国、米国、メキシコ)の新型コロナウイルス感染症患者1万7485人を対象に研究した論文を分析したところ、この3カ国全体のぜん息患者の割合は8.0%だったのに対し、新型コロナウイルス感染症患者に占めるぜん息患者は5.3%で、明らかに少なかったのです。

ウイルスが人に感染する仕組みから、ぜん息患者は感染しにくいのではないかと考えられています。新型コロナウイルスは、気道の細胞表面にあるACE2受容体に結合し、新しい酵素を分泌して細胞内に入り込みます。また、ぜん息患者では、炎症を起すサイトカイン(インターロイキン4)やサイトカインが分泌されていますが、これによりACE2受容体が少なくなることもわかっています。つまり、ぜん息患者は新型コロナウイルスが人の体内に侵入する入り口が少なくなっているため、感染しにくいと推測されているのです。



ぜん息患者は体内にウイルスが入りにくいという報告がされています。患者会員の中では感染者は報告されていませんが、日頃の自己管理や感染予防がしっかりなされているからかと思えます。

患者1460人を対象にした日本呼吸器学会の調査(2020年7月)によると、全体の死亡率は5.6%に対し、ぜん息患者は4.1%にとどまっています。一方、新型コロナウイルス感染症で入院した患者(重症を示す)を調べると、ぜん息患者は全体平均より少し多かったというデータもあり、はっきりしないのです。

### COPD患者は重症化しやすい

COPD患者は一般的に感染症にかかりやすいとされていますが、新型コロナウイルス感染症にかかりやすいかという点については、まだはっきりわかっていません。一方で、COPD患者は、新型コロナウイルス感染症にかかる重症化しやすいことはわかっています。